

東京新聞

中日新聞東京本社
東京都千代田区内幸町二丁目1番4号
〒100-8505 電話 03(6910)2211

セクハラ被害 31%

議会や有権者 根強い蔑視

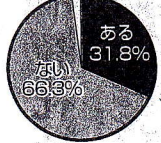
「女性が輝く日本」を安倍政権は掲げるが、地方議会の女性比率は、全国で二割強にとどまっている。なかなか増えない理由と改善策を探るため、本紙は四月の統一地方選を前に、東京都内市区町村の全女性議員にアンケートを実施した。その結果、社会の根強い女性蔑視などさまざまな課題が浮かび上がり、同僚や有権者からのセクハラ経験は三割に上ることが分かった。女性議員の生の声を交え、三回にわたり報告する。

2015

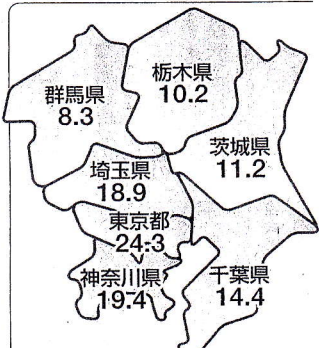
統一選

【セクハラ】「女性という理由で嫌な思いをしたことがあるか」の問いに、31.8%が「ある」と答えた。23区で27.7%、市町村で37.1%。アンケートの自由記述によると、嫌がらせをした相手は、議員、有権者、自治体職員に及んでいた。

Q セクハラにあったことが...
不明1.7%
ない66.3%
ある31.8%



関東の女性地方議員の割合



※単位:%、小数点第2位以下は切り捨て。
総務省調査(2013年12月)から作成。
議員数は都県と市区町村の合計

「議員なんかやめて早く結婚しろ」
中村延子・中野区議(二期)は懇親会の酒席などで、男性区議から何度言われたか分からない。悪気はなくても、女性への差別意識を感じ、不快だ。「民間企業では考えられないほど、議会は体質が古い」

「これとほぼ同じ言葉で昨年、塩村文夏都議(二期)が本会議中にヤジを受けた問題は、海外メディアも報道するなど社会問題化した。懇親会などで嫌な思いをした議員は多い。女性区議(五〇)二期は、男性区議との区男性管理職に手を取られ、チークダンスを踊らされた。「びっくら」

女性市議(五〇)二期は以前、議員休憩室で気心の知れた男性議員に軽く背中をたたかれた。それを見た別の男性議員が「セクハラか?喜んでるから違うな」。続いて周りの十人ほどからどつと笑われた。「悔しい。なんて幼稚」

有権者のいやがらせもある。「びっくら」。鈴木ひろみ新宿区議(二期)は政治活動用ポスターに、汚く落書きされた。英語で女性を侮辱する意味の言葉(〇〇)などを、二カ月間に三十枚、産休取得を公表した後のことだ。嫌がらせメールも来た。「議員のくせに辞めてから出産しろ」
三十代女性区議二期の自宅に宅配便でTシャツと手紙が届いた。「フーッラでこのシャツを着て写真送って」。送り主は、支持者が紹介してくれた男性だった。

地域	割合
パリ市	50.9%
ストックホルム市	49.5%
ヘルシンキ市	45.9%
ワシントンDC	36.9%
ロンドン市	32.0%
ニューヨーク市	29.7%
23区	26.1%
ソウル市	18.8%
日本全国	13.1%

※23区以外は市議。
★は市長が女性。
日本全国は2013年12月の数字

各国主要都市の地方議会女性議員の割合

関連2面

このほかの回答にも、女性議員の怒り、悔しさがあふれていた。「古い男性議員は大きな声で威嚇するの、女はひるむ」「フアッションをどやかく議員に言われる」「女は引込んで」と街頭演説で罵声をあびた。

対処はしている。「区政報告会で有権者に『女性に務まるのか』と質問され、『女性に務まらない理由は何ですか』と聞き返したら『だまっ』」「〇〇議員、それはセクハラではないですか」と面と向かって言う。男性議員が助け舟を出してくれることもある。冒頭の中村区議は言う。「女性が増えてほしい。そうすればセクハラに対してハードルが上がる」

調査の方法 アンケートは昨年10月～今年2月、都内市区町村議会の全女性議員に質問文を送るなどして実施。区議は126人(55.7%)、市町村議が97人(53.2%)、計223人(54.7%)から回答があった。都内市区町村の女性議員は1月末現在、408人で25.0%を占める。